

## 事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	④安全で心やすらぐまちづくり	①防災・消防	①	自らの命は自ら守る「自助」意識の浸透

事業名	救急救助事業	担当課名	消防本部 警防課
-----	--------	------	----------

### 【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)

救急救助活動の複雑多様化に伴い、救急救助隊員の専門教育をはじめ、応急手当等の普及啓発及び救急救助資器材の整備など、救急救助体制の強化充実を図る。

(事業概要等)

- ① 各種研修にかかる費用
- ② 応急手当等の普及啓発にかかる費用
- ③ 救急救助資器材の整備及び点検にかかる費用
- ④ 救急隊員の抗体検査及びワクチン接種にかかる費用
- ⑤ 救急活動の資質向上を図るための泉州地域メディカルコントロール協議会負担金

### 【事業費】

項目／年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	7,363	7,735	7,357	8,725	
うち市負担分(千円)	7,363	7,735	7,357	8,725	

### 【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
普通救命講習Ⅰ・Ⅱ、救命実技	人	1,466	1,045	1,022	500
救急安心センターおおさか認知度	%	37	51	51	60

(指標を設定できない理由)

(成果の概要)

救命講習等は、救命率の向上を事業目的として実施しており、心肺停止傷病者発生時に現場に居合わせた方の応急手当などで、傷病者の社会復帰率も全国平均を上回っていることから一定の成果がある。  
また、救急安心センターおおさかの認知度は前年と同様であるが、救急出場件数は平成30年度が4522件、令和元年度が4401件、軽症傷病者の搬送率は平成30年度が60.8%、令和元年度が56.3%で、事業目的である救急車の適正利用に繋がっている。

### 【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	予てからの広報活動に加え、令和2年度では、HP、広報いずみおおつ及びSNSにスマートフォンやパソコンで視聴できる動画(QRコード)を掲載し、普及啓発に努めています。
--------	------------------------------------------------------------------------------------

### 【課題(問題点)】

課題(問題点)	令和2年度の救命講習等は、新型コロナウイルスの影響で講習の中止や受講制限を設けたため、受講者数が激減していることから、3密を避けた講習の方法等をさらに検討し、多くの方に受講していただけるよう取り組んでいきます。
---------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 救命講習等は一定の成果が出ていると考えられる。また、救急安心センターおおさかの認知度は前年と同様であるため、更なる認知度アップをめざし、引き続き普及啓発活動を実施します。
	改革・改善策等の具体的内容	